



令和4年2月1日～3月15日に動画配信した「いせはら男女共同参画フォーラム」の講演内容を紹介します。

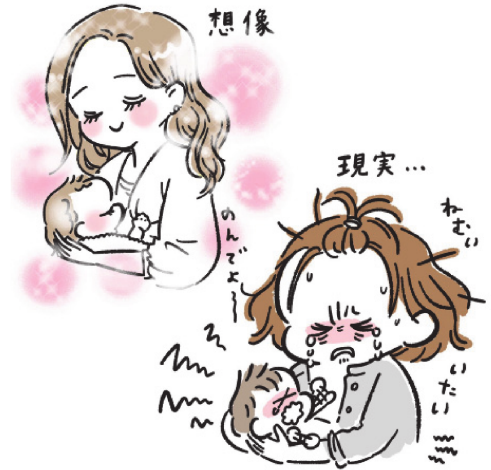
## 男性の家庭進出がニッポンを変えるのだ！

講師 前田 晃平 氏(認定NPO法人フローレンス 代表室長)

### ◆夫は知らない？過酷な子育てのリアル

妊娠中や出産後はホルモンバランスを崩しやすく、その人の人格やパーソナリティは不安定になり、弱ってしまう期間です。

実際に妊娠中や産後1年未満の妊産婦の死因第1位は自殺であるという統計データもあります。精神的にボロボロになる中で、結婚した男性が育児に対してどれだけ理解を示し対応していくかで、男性として夫として、妻からの愛情に大きな差がでます。



### ◆【人を頼る壁】を超えてみる

「子どもの健全な発達には、母親との愛着関係が必要である」という説には、科学的根拠はありません。

「信頼できる大人との愛着関係」があれば、必ずしもお母さんである必要はなく、父や祖父母でも構いません。

人類は何十万年も、集団で子育てをしてきました。母親に家事育児を強く依存している現代社会のあり方は、異常ともいえます。行政のサービスや周りのサポートなど、社会資源を積極的に活用してほしいと思います。

### ◆乗るしかない！男性育休のビックウェーブに 企業とパパができること

日本は、育児休業の保障が先進国を抑えて堂々の1位、育休期間中でも給与の約9割の保障がされ、最長で2年の取得が可能です。新卒社員の約8割は育児休業の取得を希望しています。しかし、男性育休の取得率は、12.65%とまだまだ低い水準です。低い理由は、「職場の雰囲気」に還元されます。

企業として、育休を取得しやすい雰囲気を作ることが大切であり、後押しなしでは男性が取得するにはまだまだハードルは高いのではないのでしょうか。

### ◆パパの家庭進出は、社会を変える

今後、日本の人口減少は急激に加速していくという予測があります。親子に対するサポートを行政がちゃんとならば女性の就業率が上がり、それがひいては合計特殊出生率にも良いインパクトを与えることは、データでもはっきり示されています。しかし、親子に対する国家的なサポートはまだまだ不十分で、社会で支えあって子育てをする為の投資が必要です。

### ◆一隅を照らすこれ則ち国宝なり

「家庭や職場など、自分自身が置かれたその場所で、精一杯努力し、明るく光り輝くことのできる人こそ、何物にも代え難い貴い国の宝である」という意味です。昔は、男達は刀を持って戦いに行くのが仕事で、それが世の中を変えたかもしれないけれど、今の世の中を変えたいと思ったら、男達はスポンジを持ってお風呂を洗うというのが、社会を変える本当に大きな第一歩です。目立たないかもしれないけれど、そこからやって欲しいと思います。

もっと詳しく知りたい方は・・・

次の2次元コード・URLから、令和3年度いせはら男女共同参画フォーラムの講演動画をご覧ください。(令和5年3月31日まで)

<https://www.city.isehara.kanagawa.jp/docs/2021113000051/>



裏面に続く

# 性犯罪・性暴力に注意！

## ◆ 入学・進学は時期は性犯罪・性暴力に注意 ◆

入学・進学は時期は、生活環境が大きく変わり、若年層が性犯罪・性暴力の被害に遭うリスクが高まりますので、特に注意が必要です。若年層を狙った性犯罪・性暴力は、その未熟さに付け込んだ重大な人権侵害であり、決して許されるものではありません。家族が被害に遭わないように、日頃からよく話し合ってみましょう。



## ◆ 成年年齢の引き下げに伴うトラブル ◆

令和4年4月1日から、成年年齢が20歳から18歳に引き下げとなりました。これによって、18歳、19歳の方は、親や監護者の同意を得なくても、様々な契約が出来るようになりますが、注意も必要です。

未成年者が親の同意を得ずに契約した場合、契約を取り消すことができます。これを「未成年者取消権」といいますが、令和4年4月1日以降、18歳、19歳は未成年者取消が出来なくなります。18歳、19歳の方は成年として、自らの責任により契約することになりますので、よく考えて慎重に判断する必要があります。



また、アダルトビデオ出演強要問題や、いわゆる「JKビジネス」と呼ばれる営業により、性的な被害に遭うといった問題が増えることが懸念されています。




## ◆ まずは相談を ◆

辛い、苦しいと感じたら、または悩んでいる方がお近くにいたら、相談できる窓口があります。SNSで相談できる窓口もあります。

相談は無料で、相談者の秘密は固く守られます。

**※ 緊急の場合は、110番または最寄りの警察署へご相談ください。**



相談窓口	電話番号等	相談日・相談時間
性暴力に関するSNS相談 Cure time	チャット ※QRコードより ご利用ください。 	毎日 午後5時～午後9時
かながわ性犯罪・性暴力ワンストップ支援センター かならいん	#8891 (はやくワンストップ) (045-322-7379)	24時間対応
警察総合相談	#9110 (045-664-9110)	24時間対応
相談電話「性犯罪110番」	#8103 (ハートさん) (0120-38-8103)	24時間対応

編集 伊勢原市男女共同参画推進委員会  
編集部会

発行 伊勢原市人権・広聴相談課  
人権・男女共同参画推進係  
伊勢原市田中 348  
電話:0463-94-4716(直通)  
FAX:0463-92-9009  
E-mail:jinken@isehara-city.jp

### 【編集後記】

コロナ禍の新生活、新学期も3回目を迎え、with コロナを実践中ですね。

山を歩くとコロナとは無関係に自然は四季の変化を見せてくれます。さまざまな世界が重なりあい、その中にいる自分。戦争や紛争も同時に起こっている世界。せめて自分の世界の中を平和にしていきたい。山で見つけた堇(すみれ)にそとつつぶやきました。